



Yokkaichi Senior High School

三重県立四日市高等学校同窓会公式ホームページ

http://www.pcs.ne.jp/~shiko/



〈平成22年度総会風景〉

## 〈平成23年度総会のご案内〉

平成23年度総会を下記の通り開催いたします。会員の皆様におかれましては、お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

### ○日時

平成23年6月4日(土)  
13時30分受付  
14時00分開会

### ○場所

四日市総合会館8階 視聴覚室

### ○記念講演

#### 〈講師〉

(株)三菱総合研究所主任研究員

辻 禎 之 氏 (四高平成元年度卒)

#### 〈演題〉

「浪花節だよ、防災・危機管理・Jリーグもー危機管理についてー」

#### 終了後

- ・抽選会
- ・記念撮影
- ・喫茶室にてティー・パーティー (無料)

### ○付記

- ・会費期限切れの方には、振込用紙を同封いたしました。会費納入にご協力下さい。
- ・講演につきましては、一般に公開しております。お知り合いで、ご興味のあります方には、ご案内下さい。

### ○問合せ

四日市高校同窓会館  
TEL・FAX 059-365-3631  
Eメールアドレス  
sikoukai@m2.cty-net.ne.jp

# 同窓会報

No.68

編集発行

三重県立  
四日市高等学校  
同窓会

四日市市茂福65  
TEL <059> 365-3631

印刷

関東東海フォトデザインシステム



## 同窓会のこれから

同窓会副会長

西脇

壽郎

(四高三十二年度卒)

平成21年に、母校創立110周年記念事業が種々行われたことは、皆様ご記憶に新しいところだと推察いたします。

同窓会が主体のものとしては、記念講演会・記念演奏会・記念小冊子の発行がありました。さらにはホームページの新規立ち上げとゴルフコンペも行われましたが、後者の2つは一過性のものでなく、これから長く続いていくものとして、大層意義のあるものです。

あります。そこで浮上してきたのがホームページの活用でした。このシステムを活用すれば、だれでも同窓会のみならず、母校の動向もかなり知っていただけるはずです。これからは年数回編集し、最新情報をお伝えできると思います。ご期待下さい。

続いてゴルフコンペの件は、古くから丹羽文雄大先輩方を中心にして「銀城会」というコンペが行われていましたが、それを記念コンペの開催を機会に、その名称等をお譲り頂きました。昨年様子は別項の通りですが、熊澤会長も「同窓会としては横の連携はかなりとれているが、縦の繋がりが十分とは言えない。それが100名以上の会員が一同に会して、親睦を深めることは、まことに意義深いことだ。」と述べてみえます。ただゴルフだけが懇親の場ではありませんが、今後大勢の卒業生が親睦を深めることのできる機会をつくっていきたく思う今日このごろです。



## 本校の現状と課題について

学校長 水谷 明弘

学生が増加しているようです。

同窓会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育全般にわたるご支援ご協力賜りまして厚くお礼申し上げます。私、昨年4月の人事異動により、本校に着任いたしました水谷明弘と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校の現状ですが、生徒も教員も良い意味でも悪い意味でも非常にめまぐるしく活動しています。進学実績については、東京大学、京都大学等の難関国立大学の合格者数はここ数年三重県トップです。これは、生徒の頑張りや教員の懇切丁寧な指導の成果だと思っております。

また部活動においても、5つの部が東海大会、2つの部が全国大会に出場しています。しかし、この実績の陰には教員の多大な超過勤務といったONの状態が頑張っている生徒の努力があります。いつまでもこの環境の下で勤務できる教員ばかり集めることは不可能です。また、生徒の考え方も変化しています。全国的な傾向ですが、「あまり無理せずに中学校生活を送りたい」と思っている中

今年度、教育技法の一つであるソーシャルスキルトレーニングを実施しましたが、挨拶も含めて継続して取り組み、どの生徒も四日市高校に入学してよかった、と思えるような学校づくりに邁進する所存でございますので、同窓会員の皆様におかれましては、母校に対して引き続き温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年、元旦、午前7時、裏山に登り、初日の出を拝む。昨年同様快晴。輝き満ちて平らけく、和む朝日の伊勢の海、自然と母校校歌を口ずさんでいた。

▼「卯」年にちなんで、巷間では、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」との言葉を聞かす。しかし、現実には「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」と、踏みしめるグラウンドは何処にあるのだろうか。後継者がなく、荒れ果てた山林、農耕地。「日本人の心のふるさと文化」を育て継承してきた里山も住宅地化し、子どもの遊び場もない。空き地、道路、水路まで、コンクリートで固められている。学校の校庭まで、人工芝、人工グラウンドで本当の土のグラウンドは少ない。▼母校が甲子園、初出場、初優勝した頃のグラウンドを想い出す。現在のグラウンドと較べて半分程の広さの狭いグラウンドで、野球(硬・軟)、サッカー、陸上競技、バレー、ソフトボール等が共用していた。グラウンドにて毎週月曜日、朝礼集会の後、全校生徒、職員による小石拾い、夏期は草取りによりグラウンドを磨いた。▼現在は何処の学校もグラウンドが整備され、草もなく、小石もなく、防球ネットが張り巡らされ、全て業者頼みのグラウンドになっている。誰による、誰のための、心のこもったグラウンドなのか。暖かい心のもったグラウンドこそ、暖かい心をもった人間が育ってきたものだ。それが母校のグラウンドである。グラウンドの石ころも雑草も立派な教材として存在してくれている。その教材を、生かすも殺すも生徒とその指導者である。業者に磨かれ、業者に整備されたグラウンドでは真の高校生としての「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」はできない。わが母校のグラウンドは、100余年の永き先輩諸氏の汗と涙と熱血で踏み固められている筈だ。後継者の絶えないことを祈る。

(鈴木田)





富中・四女・北女卒業生



四高 昭和 25 ～ 29 年度卒業生



四高 昭和 30 年度以降卒業生



懇 親 会



マリンバ演奏

平成22年度総会は6月6日(日)の14時より四日市市総合会館にて開催されました。

120余名の参加者で定刻通り始まり、最初に熊澤会長よりご挨拶をいただきました。内容は、昨年の母校創立110周年記念行事も質素ながらも、同窓会員の参加も多く、記念総会、祝賀パーティー、記念ゴルフコンペ等やかな雰囲気、各行事は成功裡に終了したことの報告でした。

続いて、本年度より校長に赴任された水谷校長より、会員への挨拶と、伝統ある四日市高校での、指導責任の重さと、学ぶ生徒たちの前途を見えた人間形成に重点を置いた学習、進路指導を行いたく希望を述べられました。その後、議事、記念演奏会、記念撮影、抽選会、懇親パーティーと、日程を終えました。

議 事



- 総会で審議された議案は次の通りです。
- 第1号議案  
平成21年度事業報告
  - 第2号議案  
平成21年度収支決算・監査報告

演 奏 会

- 第3号議案  
平成22年度事業計画案
  - 第4号議案  
平成22年度予算案
- 以上の議案について慎重な審議の結果、全会一致で承認されました。

本年の記念講演は、四高33年度卒の田嶋玲子氏にお願いし、「マリンバ演奏とトーク」という演題で、心温まるひとときを過ごすことができました。

田嶋氏はマリンバ演奏とその指導において、日本の草分け的存在であり、音楽教育者としてまた演奏家として50年のキャリアを持ち、現在も第一線で活躍中です。

当日はマリンバの演奏家でもある娘さんも協力出演され、親子のぴたりと息のあった躍動感ある音楽がすばらしかったと思います。普段あまりこの楽器に親しんでない私たちに

も、マリンバのテレモロ奏法による持続音は実に耳に心地よく、またマレットの堅さによって音色が変幻自在になるなど、聴く者の心をとらえて放さないすばらしい演奏でした。耳慣れた曲目にも、時には軽快に時にはしつとりと、暖かく優しい響きが会場を満たしていたように思います。

また、曲間に入るスピーチも穏やかな口調の中に氏のゆるぎない自信と誇りが感じられ、この講演会に参加したすべての方々の心にすてきなメッセージとなって響いたことは言うまでもありません。

財団法人 四高会 平成 21 年度収支決算書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

| 〔収入の部〕    |     |       |           |           | 単位：円 |  |
|-----------|-----|-------|-----------|-----------|------|--|
| 勘 定 科 目   | 細 目 | 摘 要   | 決 算 額     | 予 算 額     |      |  |
| 寄 付 金 収 入 |     | 同窓会より | 750,000   | 750,000   |      |  |
| 雑 収 入     |     | 会館使用料 | 101,500   | 110,000   |      |  |
|           |     | 受取利息  | 1,797     | 2,764     |      |  |
| 前 期 繰 越 金 |     |       | 1,107,236 | 1,107,236 |      |  |
| 合 計       |     |       | 1,960,533 | 1,970,000 |      |  |

〔支出の部〕

単位：円

| 勘 定 科 目   | 細 目       | 摘 要       | 決 算 額   | 予 算 額     |
|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
| 管 理 費     |           |           | 649,173 | 1,520,000 |
|           | 事 務 費     |           | 84,035  | 400,000   |
|           | 会 館 修 理 費 |           | 93,970  | 500,000   |
|           | 清 掃 費     | 環境整備等     | 72,000  | 100,000   |
|           | 保 険 費     | 火災保険料     | 18,570  | 20,000    |
|           | 光 熱 給 水 費 | 電気、水道、ガス代 | 380,598 | 500,000   |
| 事 業 費     |           | 会議、講演     | 229,475 | 250,000   |
| 法 人 住 民 税 |           | 県税・市税     | 20,000  | 160,000   |
| 予 備 費     |           |           | 0       | 40,000    |
| 合 計       |           |           | 898,648 | 1,970,000 |

単位：円

|             |           |
|-------------|-----------|
| 平成 21 年度 収入 | 1,960,533 |
| 平成 21 年度 支出 | 898,648   |
| 次 年 度 繰 越 金 | 1,061,885 |

(次期繰越金) 百五銀行富田駅前支店普通預金 1,061,885

四日市高校同窓会 平成 21 年度収支決算書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

| 〔収入の部〕  |             |                    |            |           | 単位：円 |  |
|---------|-------------|--------------------|------------|-----------|------|--|
| 項 目     | 細 目         | 摘 要                | 決 算 額      | 予 算 額     |      |  |
| 同窓会収入   |             |                    | 8,737,960  | 8,664,000 |      |  |
|         | 入 会 金       | 全日制 1,800 × 1079 人 | 1,942,200  | 1,944,000 |      |  |
| 同 窓 会 費 | 終身 (20000)  | 327                | 6540000    |           |      |  |
|         | 10年 (10000) | 1                  | 10000      |           |      |  |
|         | 5年 (5000)   | 0                  | 0          |           |      |  |
|         | 3年 (3000)   | 2                  | 6000       |           |      |  |
|         | 2年 (2000)   | 2                  | 4000       |           |      |  |
|         | 1年 (1000)   | 267                | 267000     |           |      |  |
|         | 同窓会費計       |                    | 6827000    |           |      |  |
|         | 振 込 料       | △ 31240            | 6,795,760  | 6,720,000 |      |  |
| 雑 収 入   |             | 利子、その他             | 2,242      | 4,672     |      |  |
| 繰 越 金   |             |                    | 1,301,328  | 1,301,328 |      |  |
| 合 計     |             |                    | 10,041,530 | 9,970,000 |      |  |

| 〔支出の部〕  |           |                       |           |           | 単位：円 |  |
|---------|-----------|-----------------------|-----------|-----------|------|--|
| 項 目     | 細 目       | 摘 要                   | 決 算 額     | 予 算 額     |      |  |
| 運 営 費   |           |                       | 1,423,927 | 1,550,000 |      |  |
|         | 給 与       | 給料                    | 1,030,000 | 1,100,000 |      |  |
|         | 事 務       | 印刷、事務用品等              | 324,101   | 350,000   |      |  |
|         | 通 信       | 電話、郵便料                | 69,826    | 100,000   |      |  |
| 会 議 費   |           |                       | 199,845   | 370,000   |      |  |
|         | 総 会       | 会場費、懇親会費、案内状          | 139,350   | 250,000   |      |  |
|         | 理 事 会     | 会場費、会議費、案内状           | 56,281    | 100,000   |      |  |
|         | 常 任 理 事 会 | 会議費                   | 4,214     | 20,000    |      |  |
| 事 業 費   |           |                       | 670,488   | 950,000   |      |  |
|         | 会 報       | 会報印刷及び発送費             | 750,000   | 750,000   |      |  |
| 法 人 税 金 |           | (財) 四高会寄付金            | 2,372,991 | 2,500,000 |      |  |
| 積 立 金   | 式典・音楽会    | 文化行事補助・記念パーティ・ホームページ等 | 1,800,000 | 1,800,000 |      |  |
| 予 備 費   |           |                       | 1,618,085 | 2,050,000 |      |  |
| 合 計     |           |                       | 8,835,336 | 9,970,000 |      |  |

単位：円

|             |            |
|-------------|------------|
| 平成 21 年度 収入 | 10,041,530 |
| 平成 21 年度 支出 | 8,835,336  |
| 次 年 度 繰 越 金 | 1,206,194  |

百五銀行富田駅前支店普通預金

特別会計積立金 (百五銀行富田駅前支店定期預金)

|             |            |
|-------------|------------|
| 前 年 度 末     | 22,001,557 |
| 今 年 度 積 立 金 | 1,800,000  |
| 利 子         | 44,010     |
| 今 年 度 末     | 23,845,567 |



リレー随想 第14回

四高で学んだこと

上田安子服飾専門学校・教務部長

小西 祐司 (四高 54 年度卒)



学校群4年目の入学生として入学した私にとって一番の驚きは、授業外で行われる様々な課外活動や行事の充実度でした。新入生歓迎会では、有志のロックバンドや吹奏学部によるビッグバンド風の演奏、そのころまだ珍しかった柔道部による「学生プロレス」など、大学生はだしの出し物が披露されました。3年生のときには『八稜星』の表紙デザインをさせていただき、過去の本を見る機会があったのですが、その中身は現在の総合文芸誌にも匹敵するほど中身の濃い物でした。

「学校行事のスケールは、その学校の偏差値に比例する」と聞いたことがありますが、これは学校「文化度」を表現したもののようです。

今では考えられないほど勉学に、クラブ活動に、遊びに、真剣な時代だったのかも知れません。

その後の私たちの代では、それらが少しずつ地味になっていったことを思うと、むべなるかなの思いです。

さて自分はといいますと、1年生のときに、友達に誘われて何となく入った美術部で、フラフラと過ごしておりました。進路を決める段になって、「自分はやはり好きなことでいくしかない」と一念発起、美大への進学を目指すことにしたのですが、急にうまくいくわけがありません。ただ、高校野球の名門を見習って、3年次にはとにかく毎日美術室に行くことを心がけました。そうこうするうちに、「全日本学生油絵コンクール」が迫ってきました。これは4年前に町田先輩が日本一に輝き、その後も部員が入賞を続けてきた文字通り「美術の甲子園」のようなコンクールです。顧問のS先生はじめ、当時、教育実習で来られていたM先輩に、下絵を何度もダメ出しされ、それでも描きだせずに日が過ぎ、3週間でなんとか100号を仕上げて東京に送りました。

結果は幸運にも準優秀賞をいただくことができ、自分なりの自信が持てました。この時の1位は、奇しくもS先生の教えを受けた先生に指導された、愛知・起工高2年の生徒の作品で、その100号2枚を繋げた大作は会場でも他を圧倒しておりました。

このような活動を通して、「やっていることが全国に繋がっている」ことを実感できましたし、まだ見ぬライバルといえますか、日本で絵を描き、デザインを志している同年代の人たちを意識する視点が養われたと思います。

また、高校時代にはS先生に美術展はもちろん、新聞社などにも同行させていただきました。もちろん、先生と作家のお友達や記者さんがお話をされているところに同席しているだけなのですが、今にして思えば、こういった「オトナの会話」を聞く経験をしたことは、様々なマナーを含め、昨今言われている「コミュニケーション力」を教えていただいたように思います。その後、大阪芸術大学に進みましたが、高校生のうちから大学の「ゼミ」のような経験をしているわけですから、最初から臆することなく、先輩や先生方の教えを乞うことができました。

こんなふうに、現在の私を支えている価値観や行動スタイルのほとんどは、四日市高校での出会いの中で養成されたものです。

「教育の危機」が叫ばれるなか、中央教育審議会は専門学校を「高等教育の新しい柱」として位置づけることを議論しており、ここに入れるかどうかにか学校の命運がかかっているといわれています。「専門」学校ですから、教育の専門性を高めるのが第一義であることはもちろんですが、四高時代に触れたような課外カリキュラム（影のカリキュラムーシャドウ・カリキュラム）の充実も、教育の高度化のカギかもしれないと考えております。

同窓会館庭園にて

年輪を刻む、各卒業生寄附記念樹

同窓会館前庭園に各卒業生が寄附された樹木が、元氣よく育っています。

学年同窓会開催時に記念事業として、記念植樹もご一考されるよう期待します。

富中41回生「黒松」再植樹

卒業30周年記念（S49年）に植樹された「黒松」が、3年前に「マツクイムシ」の被害で弱りました。H22年に、富中41回卒代表者により再植樹をされました。



新しく植樹されたクロマツ代表の伊達貫一郎氏（左）川合一郎氏（右）

庭園には、まだ空きスペースがありますので、各学年幹事の方々、各

吉田豊さまは、四日市高女第39回卒業生代表として、こよなく同窓会を愛し、几帳面な性格で会運営の推進役を務めてくださいました。  
平成10年度より15年度まで、副会長を務められ、以後、急逝されるまで顧問として会を見守ってくださいました。  
ご冥福をお祈りいたします。



お悼み  
吉田 豊さま  
(四女三十九回卒)  
平成22年12月20日ご逝去

第2回

銀城親睦ゴルフ大会

母校創立110周年を記念して開催されました第1回銀城親睦ゴルフ大会に続き、第2回大会が、

去る平成22年

11月11日(木)

四日市カンツ

リークラブで

開催されまし

た。

参加者は

女子10名、男

子122名の

成親睦ゴルフ大会

四日市高等学校同窓会



〈熊澤会長あいさつ〉



〈優勝カップ授与〉



〈懇親会〉

卒の今谷慶郎さん(T13・2生)でした。

また、当日の優勝者は

女子の部

須藤美智子さん(S25卒)

男子の部

山下 晃さん(S36卒)

なお、優勝者山下 晃さんと同じ組でラウンドされた岡田忠夫さ

ん(S36卒)が16番で見事ホールインワンを達成され第3位に入賞されました。

第3回大会は2011年11月10日(木)に四日市CCでの開催を予定しておりますので、お誘い合わせの上多数ご参加下さいます様ご案内申し上げます。

(伊藤 勘作)



# 往 来



祝典と追悼法要



2010年11月第16回アジア大会が、中国広州で開催され陸上競技で日本選手が活躍しました。  
女子100米で福島さんが11秒33で優勝し金メダル、第5回(1968年)から44年振りの記録を達成しました。200米でも優勝、2冠に輝きました。男子槍投で村上さんが、83米15で自己新記録で優勝金メダルを獲得、女子槍投で海老原さんが、61米56で優勝、日本新記録を9年振りに更新しました。  
アジア大会をテレビ観戦していて、私が四日市高校陸上競技部に在籍中に第2回アジア大会(1954年)の選考会が有り、槍投で日本代

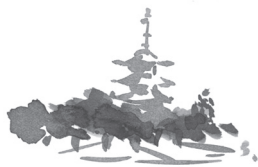
表選手に選ばれ、当時の恩師服部孝之助先生が涙を流して喜んでくれたことを思い出しました。  
当時の私は身長160センチ、体重52キロで、短距離、走中跳、走高跳、ハードルが専門でした。2年生の4月先輩の投げた槍が私の足元に飛んできたのを「こちらへ投げよ」と言われ、それ迄持ったこともない槍を私流で投げ返したら「明日から位田は槍投をしろ」と言われて驚きました。グラウンドが狭くて練習が思う様に出来ず、垂坂山の開拓中の山に2本槍を持って、一人で練習に行き午後8時頃に校庭に戻ると人影も無く、10投全力で投げ帰宅、家では

柱にくくり付けたチューブを1000回、腰入れと投げの練習、お風呂の中ではスナップの練習という毎日でした。  
第2回アジア大会フィリピンのマニラは対日感情が悪く、空港周辺は戦争の砲弾の跡が一杯残っていました。競技場での練習中も「日本人バカヤロー」と大声がして集中しての練習も困難でした。宿舎も女子大学の寮で天井にはやもりが居り、木のベッドに蚊帳が付いているものでした。食事も口に合わず、パンにバターを付けて食べたのが最高に美味かったです。  
試合当日予選は3投で2投ファールして記録が無く、監督に呼ばれ「いつも練習している気持ちで」と言われ、今度失敗したら日本に帰れないと思い無心で投げた3投目。「ワー」という喚声が上がりました。自己新記録で銀メダルを獲得。一瞬何が

服部(旧姓・位田)さんが獲得された銀メダルは同窓会館メモリアルギャラリーに常時陳列されています。

今思い起こしますと、富中の5年間は戦中、終戦、戦後という未曾有の混乱期であっただけに、今尚忘れ難い有為転変の出来事や事件に遭遇し、眼を閉じて静かにその時を思いた。

(四) 20年8月15日正午、終戦の詔



秋になり運動会や文化祭など行事が目白押しとなりました。最上級生だったからかもしれません、そういった行事の責任者をやらされることとなりました。  
その年の学校のグラウンドは改修工事で使用できずに、運動会は中央緑

全生徒が四高から北高に、着替えて仮装道具一式を担ぎ、それこそ行列・行軍という感じでした。いよいよ仮装イベントが開始されました。リハ・サルなしの屋外イベントです

起ったのか解らない状態でした。記録は42米69でした。当時は木の槍で今の槍とは材質も違い、現代のスポート選手は競技場、器具、ウェア、食事やサプリメント等で体力的にも恵まれていると思います。  
今回のアジア大会日本メダル獲得目標は金60個以上2位を目標にしていた様ですが及ばず、3位で金48個銀74個銅94個合計216個という結果に終わりました。この結果から今後一層の努力と、もっとスポーツ施設と環境、スポーツをする者への待遇に日本全体が力を入れ、素晴らしい結果が生まれるように期待したいと思っています。

(二) 入学早々の18年12月5日の夜、本校舎より出火炎上し、消失。富田幼稚園や仮設の馬小舎教室での授業となる。

(七) 23年3月卒業。学制改革により、4月より旧制高校、高専、新制四日市高校(三年編入)へ夫々進学又は就職した。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。

(一) 入学早々の18年12月5日の夜、本校舎より出火炎上し、消失。富田幼稚園や仮設の馬小舎教室での授業となる。

(六) 22年の夏の甲子園へ初出場を果たし田辺中学と対戦した。復活野球部を結成したのは戦中の山城での開墾に従事した3年5組(担任、池内先生)のメンバーたち(小池、藤井、早川、福田、武藤、森谷、小林)であった。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。

(二) 入学早々の18年12月5日の夜、本校舎より出火炎上し、消失。富田幼稚園や仮設の馬小舎教室での授業となる。

(六) 22年の夏の甲子園へ初出場を果たし田辺中学と対戦した。復活野球部を結成したのは戦中の山城での開墾に従事した3年5組(担任、池内先生)のメンバーたち(小池、藤井、早川、福田、武藤、森谷、小林)であった。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。

(二) 入学早々の18年12月5日の夜、本校舎より出火炎上し、消失。富田幼稚園や仮設の馬小舎教室での授業となる。

(六) 22年の夏の甲子園へ初出場を果たし田辺中学と対戦した。復活野球部を結成したのは戦中の山城での開墾に従事した3年5組(担任、池内先生)のメンバーたち(小池、藤井、早川、福田、武藤、森谷、小林)であった。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。

(二) 入学早々の18年12月5日の夜、本校舎より出火炎上し、消失。富田幼稚園や仮設の馬小舎教室での授業となる。

(六) 22年の夏の甲子園へ初出場を果たし田辺中学と対戦した。復活野球部を結成したのは戦中の山城での開墾に従事した3年5組(担任、池内先生)のメンバーたち(小池、藤井、早川、福田、武藤、森谷、小林)であった。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。

(二) 入学早々の18年12月5日の夜、本校舎より出火炎上し、消失。富田幼稚園や仮設の馬小舎教室での授業となる。

(六) 22年の夏の甲子園へ初出場を果たし田辺中学と対戦した。復活野球部を結成したのは戦中の山城での開墾に従事した3年5組(担任、池内先生)のメンバーたち(小池、藤井、早川、福田、武藤、森谷、小林)であった。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。



## 傘寿の祝典と追悼法要

遺族を交え仲間たちと往時を偲ぶ

伊 達 則 彦

(富中第四十五回卒)

(五) 21年1月、駅伝競争に住山、伊藤通等が出場し優勝する。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。

勅たる玉音放送を在校生全員(一部の者は勤労動員先の工場で、一部の者は陸軍幼年学校や海軍兵学校予科や海軍航空隊予科練習生として)が校庭で聞く。落涙。  
(五) 21年1月、駅伝競争に住山、伊藤通等が出場し優勝する。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。

勅たる玉音放送を在校生全員(一部の者は勤労動員先の工場で、一部の者は陸軍幼年学校や海軍兵学校予科や海軍航空隊予科練習生として)が校庭で聞く。落涙。  
(五) 21年1月、駅伝競争に住山、伊藤通等が出場し優勝する。

昭和47年10月3日、私は生徒会で書記をやっていました。  
3年生で生徒会などやっていたのはごく稀な生徒です。といっても積極的に生徒会活動をやっていたのではなく、現実逃避、勉強なんかしたくないという気分でした。続けられておりました。2年生のときに『八稜星』の編集に携わり、生徒会室周辺の雰囲気が好きだったのかもしれない。

地公園で行うこととなりました。陸上部にいたので、そのあたりから会場のことも含めて責任者になってしまったのでしよう。問題は、それまで運動会の合間にやっていた一大イベントのクラス対抗の仮装行列をどうするか、ということでした。結局、近くの四日市北高校の運動場をお借りして、運動会から独立して開催することとなりました。他の行事も多く、準備期間も長く、毎日遅くまで学校におり、10月3日の当日を迎えました。

ところで、この後の運動会も文化祭も喜んで終わることができたことを付け加えなければなりません。その理由は、これまた秘密です。大人になりました。



# 人物



## 学徒動員そして 四日市空襲に散った友よ

鈴木 勢子

(四女四十四回卒)

授業が始まり、翌年には日永の紡績の寮を借り全校生が一緒に授業を受けることが出来、先生方のご苦勞が偲ばれます。波乱に満ちた時代で

「若い血潮の予科練の七ツ鉞は桜に鋪今日も飛ぶ飛ぶ霞ヶ浦にやデッカイ希望の雲が湧く」と日の丸の鉢巻をしめ軍歌を歌って職場へ向う軍国乙女の私達でした。昭和17年4月憧れの四日市高女に入学しましたが、折しも太平洋戦争の真只中で、戦局は熾烈を極め、私達3年生以上に学徒動員命令が出たのは、19年8月でした。翌20年8月の終戦までの一年間、常磐の三重製絨工場で、陸軍の軍服の生地を織る作業に従事し、寄宿舎生活となり、私達は学徒として明るく励まし合

い、生産を高めていきました。そして20年6月18日、四日市空襲の夜がやってきました。丁度その日は、月に2回私達が家で一泊の日でした。その夜富田の私の家から見たのは、紅蓮の炎に包まれた地獄の四日市の空でした。同室の池内淑子さんが、第五小学校の防空壕でお母様と焼死されました。あの日が泊りの日でなかったら、今も元気でみえたかと思

います。六十数年経た今も彼女の姿が目に見えます。又学校防護のため2年生10人が帰らぬ人になり、全校で13名の尊い命が奪われました。国の内外で大きな犠牲を払い、やがて終戦。私達は本来の学生生活に戻りましたが、母校は跡形もなく焼け、羽津小と日永小の校舎を借り分校のす。



## ありのままに

市川 弘子

(北女二十一回卒)

私も満80歳を迎え、寄稿を機会に、女学生当時から現在までの来し方を振り返ってみたいと思います。

女学生の頃は学徒動員で勉強よりも工場で働く毎日でした。又5人兄弟の長女でもありましたので、家では母を助け食糧不足の中、弟妹の面倒を見て参りました。終戦の混乱の中就職し結婚もして、高度成長の喧噪の下、2人の娘の子育てやら、パート勤め等と忙しい毎日を送って参りました。50代60代は仕事の忙しい娘に代わって、孫の面倒を見るのに精一杯で、ゆとりを持つこともできま

せんでした。近年ようやくすべてが自分の時間ともいえるようになり、好きなように過ごしております。とはいえ、長年の不摂生がたたって、活発に動く事もできませんので、家の中で料理をしたり陶芸教室に通ったりする毎日です。料理と云えば新しいレシピを搜して挑戦するのが好きで、思いの外おいしくできること

もあるのを楽しみにしています。近所の方や友人にもお裾分けして娘に迷惑だと叱られる有様です。又、陶芸も10年ほど続けており、皿や壺など形のきまつたものではなく、焼



## 三年一組……で学ぶ

山本 哲也

(四高五十一年度卒)

33年前の私は、女子生徒がたくさんいる、数学・物理が嫌いな3年1組の受験生でした。担任の先生の独特の雰囲気のおかげなのか?? 時に受験生であることを忘れさせてもらい、どちらかといえば国公立受験志向の強い、男子生徒が多い四高で

受験を回避し、「なんだかこつすいなあ……」という気もします。親孝行をしてくれたのか、大学側も少子高齢化の生徒集めなのかなと思った

先日、四高の大先輩が「学歴はあっても学問がない」と話された言葉を聴き、自分自身「どきり」とした思いがあります。私たち世代はどちらかというと当たり前のように高校を卒業し大学に進学したものの、本当に「学び」が備わっているものだろうか

受験を回避し、「なんだかこつすいなあ……」という気もします。親孝行をしてくれたのか、大学側も少子高齢化の生徒集めなのかなと思った



## 五十代

柳澤 一重

(四高通信制六十年代卒)

私たちの年代は高度成長期からオイルショック、バブル時代とその崩壊、またリストラと学生の就職難など色々経験してきた。デフレ状態の中で、企業も生き残りをかけての戦略で人間関係も複雑になっている。

思ひやりとは何か。ただ人に親切にするということではなく、人の気持ちを理解し考える、またお互いに話し合い、互いの気持ちを尊重し、その人の立場になって悩み、喜び、何かを解決したりすることではないか。こんな簡単なことが子供にさえ

私たちは高度成長期からオイルショック、バブル時代とその崩壊、またリストラと学生の就職難など色々経験してきた。デフレ状態の中で、企業も生き残りをかけての戦略で人間関係も複雑になっている。

思ひやりとは何か。ただ人に親切にするということではなく、人の気持ちを理解し考える、またお互いに話し合い、互いの気持ちを尊重し、その人の立場になって悩み、喜び、何かを解決したりすることではないか。こんな簡単なことが子供にさえ

校生活とともに、長い人生のなかで何を学ぶかが大切であって、入学試験の合格が最終目的ではないことを今になって再確認する次第です。私は現在、四日市ばんこ焼の販売を仕事とする悪戦苦闘の毎日ですが、どういうかたちにして、四高の学生生活で「学ぶ」ことを学んだ経験を生かして、人生の後半もできる限り「学ぶ」姿勢を持ち続けていこうと思います。

宣伝になるようで恐縮ですが、今年も5月の第2土・日曜日の2日間、近鉄川原町駅周辺にて、恒例の「ばんこ祭り」が開催されます。今年で50回目を数える開催です。遠方のかた、近在のかた、みなさまお誘いあわせの上のご来場、心よりお待ちしております。

通りであり、自分としては否定して生きていきたい。

しかしそこには、やはり思ひやりという言葉が心の中に現れる。「思ひやり」、簡単な言葉ではあるが、実行するのはとても難しいことだ。この何年か前から犯罪が増えてい

思ひやりとは何か。ただ人に親切にするということではなく、人の気持ちを理解し考える、またお互いに話し合い、互いの気持ちを尊重し、その人の立場になって悩み、喜び、何かを解決したりすることではないか。こんな簡単なことが子供にさえ

思ひやりとは何か。ただ人に親切にするということではなく、人の気持ちを理解し考える、またお互いに話し合い、互いの気持ちを尊重し、その人の立場になって悩み、喜び、何かを解決したりすることではないか。こんな簡単なことが子供にさえ







子育ては親育て

田中 恵美

(四高平成十一年度卒)

四日市高校が100周年を迎えた記念の年、私は3年生に在学してました。記念式典では、その歴史の重さに、誇らしさより畏れ多い気持ちで勝りました。卒業後、名古屋芸術大学に進学し、在学中に結婚。夫が開設計したデザイン事務所を手伝い、7年目。昨年夏に第3子を出産し、二人六脚(?)、地元四日市で奮闘しています。その環境もあって、子育てフリーマガジンの編集デザイナーや保育園のキャラクターデザインの仕事などもいただきます。

だから自身の子育てもスムーズかというと、そうはいかず。4歳の長男は反抗期。先日、口答えをしていたので、「お父さんに、そんな事言ったらあかんやろ?」と論すと、こんな言葉が返ってきました。「別にいいじゃん!」さらに畳み掛けるように「なんで、あかんの!!」と。

ふと、古典で習った孔子の五常の徳「仁義礼智信」が浮かびました。毎度現代語訳の丸暗記で試験を乗りきってきましたが、礼儀に厳しかった両親に育てられたからか、文法はさておき、教える腑に落ち、心の中で両親に感謝しました。

ところが、人間よりもコンピュータに向き合う時間が長く、それら機

械に翻弄される昨今。デザインも例外ではなく、パソコンの出現により手軽に、百人百通りのニーズに応えられます。しかし、どんなに万能なパソコンも私があの古典の授業で感じた気持ちは体現できません。子育ての大前提も醍醐味も五常の徳にありそうですが、私ひとりですりもたに伝えるには力不足です。私の場合は、私と夫の両親、兄弟、祖父母まで巻き込んで、子育てをサポートしてもらっています。その中で五常の徳を意識しなくてはならないのは私の方かもしれません。

さて、息子の「なんで?」に、「私の知識もなかなか捨てたもんじやないな」と陶酔してばかりおられず、とっさに出た答えは「理由はない」でした。それからというもの、息子の口癖が「理由はない」になったのは、言うまでもありません。



旅のチカラ

内 藤 健 二

(四高六十一年度卒)

旅行会社へ入社しちょうど20年となります。昨年、転勤3回目にしてやっと地元で働くチャンスに恵まれました。母校である四日市高校の仕事もいただき、またお世話になった先生のグループ旅行もお手伝いさせていただくことができ、本当に嬉しく思っています。

旅行業をとりまく環境もかなり変化しました。かつては旅行に行くには旅行会社を通しての申込みがほとんどでしたが、最近はインターネットを利用し旅行会社を通さず旅行に行ける時代となり、我々にとって

は非常に厳しい時代となってきました。会社に入社した動機のひとつは、

旅にはチカラがあると思うことです。旅先で待ち受けている一つ一つの経験・体験は、普段の日常生活でのそれよりも強く印象に残るものです。ちなみに私の修学旅行を思い出すと、台風の影響で旅行期間を短縮して帰宅。萩でのレンタサイクル、旅館での生活を、まだ思い出すことができます。

3日前の夜に何を食べたかは思い出せなくても修学旅行での触れ合い、旅館でのできごとは鮮明に覚えているように、旅にはそんなチカラがあるのではないのでしょうか?

今どきの修学旅行の話を見せていただくと、目的地はかつての定番であった九州が復活しつつあります。

平成22年度会費納入者

(敬称略)

○終身会費(2万円)

安藤舞、伊井梓、伊藤文美、伊藤貴仁、今村将成、内山里穂、小野舞子、角井美紀、加藤早織、加藤祐子、金堂孔輔、河村祐子、菊川真麻、菊山由衣、清田夏未、小林由佳、斎藤愛理、坂倉早紀、下濱都来、杉本杏奈、多賀一喜、高城佳那美、竹村美咲、辻野恭平、出口沙織、中澤芽衣、羽生萌乃、東出和哉、馬瀬琢己、水谷弘樹、諸岡正悟、柳田和己、脇大典、渡邊雄斗、伊東絵梨香、太田隆比呂、岡本翔平、岡山さくら、小田有紗、小田詩織、加藤光、倉ひとみ、児玉愛子、小林朗人、小林加央璃、小林里穂、斎藤貴史、阪有紀乃、笹岡智谷口加恵、津田雄彰、手嶋大侑、中西沙織、並木静香、服部瞳、藤田顕考、増田啓佑、松井宏樹、水谷幸平、三林咲実、民部貴久、毛知幸徳、森晃子、森下陽子、矢野貴大、山口翔子、山口卓哉、渡邊美琴、秋元厚美、石黒夏未、伊藤貴史、伊藤優季、岩間彩香、梅村瑞稀、方山大地、加藤麻衣子、兼子真優、喜多村朝美、栗田真衣、黒田沙樹、小山智壽子、佐藤由里菜、鈴木健一、高崎幸、中村一貴、野呂悠輔、舟橋卓、舟橋里菜、前田季美、峰田基史、八島光平、矢田雄大、山本翔太、和田元樹、伊出伸之介、伊藤奈穂美、伊藤也真人、茨木勇貴、井堀郁也、大西駿、桂山翼、儀賀大己、教学真菜実、熊澤龍佑、河野杏美、近藤剛史、櫻井詩歩、柴田久嗣、鈴木万智、瀬古大輔、高井遥香、田中大資、徳田省吾、中西貴大、西川知里、西口茉友子、萩一樹、服部真幸、人見茜、細川萌里、牧田拓也、松嶋祐樹、松村円香、眞弓はるか、森田一輝、谷藤謙次、山口瑠宇、山下廣大、之内卓弥、若林敦司、浅井健一、足立太一、二海りさ、伊藤彰吾、井上怜、上田舜、春日井大輝、川島英恵、後藤寛登、後藤勇樹、近藤崇裕、齋木萌、阪倉若菜、佐藤末里、田中勢里

香、出口優香、中井麻由佳、永戸雄也、中村彩希、禾本大樹、濱田英里、福本健太、藤井幹子、藤松愛、松元彩、眞野果林、水谷祥子、三本明日香、三好友樹、山内信人、山田悠登、吉川浩平、渡邊優紀、浅井理香、石井龍太、伊藤夏来、上田史人、打田晴輝、内山睦美、大萱晃大、加藤千晶、川井田大地、久留島淳史、黒田祐輔、高阪重行、河内章吾、小林久也、小林愛、小林由依、近藤弘隆、繁田智弘、柴田千里、杉田夏美、瀬戸山絢美、館泰志、出口真行、富山貴弘、中根麻由奈、畑中佑太、服部有哉、福森真士、藤谷将也、堀江祐太郎、堀川美希、増田直人、松下愛、松葉紗代、森陽里、山浦夏星、山下貴也、吉田将大、吉原彰宏、市川沙菜美、市川隼也、伊藤圭亮、上浦唯、大原駿平、岡本彩希、金森恵梨香、川瀬勸、川村悦子、草川紗妃、楠井晟矢、葛巻みなみ、倉田駿、黒山滉平、合田陽映、後藤大揮、白根優里、高木駿太、橘洋佑、田中靖大、寺邊隆史、弘田有梨奈、福田雄斗、前田木実、牧野博一、松岡大貴、松永正直、溝端圭介、矢田純一、矢田望、山路仁梨、米沢凌、渡邊友加里、伊藤朝、伊藤智康、大矢智子、加藤葉子、川森裕司、佐々木晴菜、佐藤準規、白井宏和、杉本千雛、田中理裕、仲条優理、豊田愛理、中嶋直人、中谷志帆、中村瑞樹、西口菜美、早川佳那、葉山新、水井珠紀、水谷茜、三輪琴子、武藤啓悟、望月果南美、森恵里佳、森裕子、山下佳奈子、山田環、山室良晃、浅井大貴、石川翠、石崎裕章、石崎雄也、伊藤孝将、稲垣怜那、大森康平、大森美花、岡部雄介、奥岡莞司、尾崎篤汰、葛西光希、柏木晴子、加藤綾華、加藤幹子、川喜田水希、後藤隼紀、米中舞、杉村理恵、高井啓輔、中条貴大、中村紗季、服部圭一郎、平田奈央子、廣田和起、藤田大介、藤見奈央、松原拓也、水谷浩人、宮崎亮直、宮崎一成、虫明直樹、森田将夫、山部陽平、山室涼平、米澤佳男、米沢飛雄馬、橋本清春、小暮由夏、小林長久、長

谷川正統、水橋守、佐藤大輔、川辺徹林泰生、長谷川貴也、森公平、名村哲至、山下清成、服部忠彦

(平成22年10月現在)

○十年会費(1万円) 一名  
○五年会費(5千円) 一名  
○三年会費(3千円) 三名  
○二年会費(2千円) 二名  
○一会費(千円) 二九七名  
会員の皆様、誠にありがとうございます。

会費納入のお願い

同窓会の事業はすべて会費により運営されています。会報の送付なども、財政上の理由から会費を納めた方だけに限らせていただいております。納入がまだお済みでない場合には、是非お早めにお願

い申し上げます。

○納入金額 終身会費 2万円

毎年納入の場合 年会費 千円

○納入方法

①郵便振替 口座番号

〇〇八二〇一八六三六七

三重県立四日市高校同窓会

※専用の振込用紙があります

のでご連絡下されば送付

いたします。

また同窓会HPよりダウン

ロードも可能です。

②現金書留

会館迄ご送金下さい。

《お問い合わせは》

四日市高校同窓会館まで

〒五一〇一八〇二七

四日市市茂福六五





# 同窓生交歓



富中40会卒クラス会  
H22.11.17 (四日市都ホテル)



北海道 富中四高会 H22.6.15



在京富中会・富中40回卒  
H21.5.29 (KKRホテル東京)



富中33回卒・牛羊会 H20.10.16



在京富中会・富中40回卒 H22.6.14 (KKRホテル東京)



通信制親睦バス旅行 H22.6.6



富中41回卒 H22.4.11 (四日市都ホテル)



四高27会 H22.7.15 (湯の山鹿の湯ホテル)



# みんなの夢舞台

## 第34回全国高等学校

### 〈総合文化祭(宮崎大会)〉

#### 演劇部 竹内 貴大

宮崎の舞台に立てることなど、まったく想像していない出来事でした。去年、三重県で行われた総文祭にスタッフとして参加したときは、上演校を観て羨ましく思うと同時に、当時入部三ヶ月の自分とは違う次元にいるように純粋に思いました。そして、スタッフとして参加するなかで、全国の舞台はたくさんの人たちの力に支えられているのだということが強く心に残りました。そのときに、いつかこの舞台上で上演してみたいという大それた思いを、心のどこかに持ったように覚えていました。

全国での上演が近くなるにつれ、今までとは違う妙な緊張感が出てきました。単に人前で上演をするという緊張感ではなく、自分が去年の総文祭で観た舞台と同じ品質の舞台を、今度は自分たちが上演できるのかというおそれに似た緊張感です。精神的に追い詰められるというほどではありませんでしたが、妙な不安をおおられたのは間違いありません。県内の演劇部の友人などから届いた応援メールや言葉も、支えとなるより、寧ろ『全国』ということを強調されて、威圧的に感じるときもありました。しかし、いくら上演

したいと強く願っても、全国でたった十二校しか上演できない夢舞台。もちろん、一生のうちに再び立つことは、ほばありえない場所。そんな雰囲気を楽しみたい、そんな場所で最高の演技をしたい、と思うようにもなりました。そして、応援も純粋にとっても嬉しく思うようになりました。

さまざまなトラブルもありましたが、演じきった後に全国の舞台はともて気持ちいい場所だ、と心の底から思いました。今年の宮崎は口蹄疫の問題もあり、開催さえ危ぶまれました。そんな中、無事開催できたのは宮崎の方々の協力のおかげだと思います。その努力がどれほど大変な物で、それが大きな力になることを、去年の経験で痛いほど知っているつもりです。このことに大きく感謝しつつ、そんな人々に支えられた夢の舞台で自分が全力で上演できたことを一生の誇りにしていきたいと思えます。

# 全国大会にむけて

## ハンドボール部主将 神 保 康 紀

僕たちハンドボール部は一月十四日から始まった県大会で準優勝になり、二月に静岡県で行われる東海大会に出場を決めました。県大会では6大会連続の2位となります。先輩方が残した成績に追いついたことや、準優勝になることで得てきた県大会シード枠を死守することができて、少しほっとしています。けれど、目標は全国大会です。春の全国大会は東海大会で5強入り、夏のインターハイは県で一位にならないと出場できません。そのため、練習の毎日。ここで重くのしかかってくるのが、日々の学校生活における「勉強の成績」と「膨大な課題の量」です。部活ばかりで勉強をおろそかにしてはいけません。先輩方がこなしてきた



ハンドボール部員

「文武両道」が、いかに大変であったか実感しました。また、冬場は日が沈むまでの短い時間の中、かじかんだ手でのように練習するかが問題でした。どんなスポーツも、練習しないと試合では勝てません。早朝練習で練習時間を補い、休日の練習試合や長期休暇中には愛知、岐阜

滋賀など他県への遠征で実戦経験を積むことで、県大会を勝ち抜き県外チームとわたりあえる實力をつけました。

忙しくても練習試合を組んでくださる顧問の先生、朝練で体育館を使わせてくださった体育科の先生など、四日市高校のハンドボール部を応援してくださる多くの方のおかげで、勝つことができています。そして何より、これまで先輩方が周りの人から評価され認められるチームを作り、部を作ってきたくれたおかげだと思っています。今では、県内からも県外からも練習試合に誘っていただけます。応援してくださる方々への感謝の気持ちを大切に、まずは東海大会で勝つためにしっかりと練習します。

そして、目標の全国大会。そこにたどり着くためには相応の實力と運が必要で、僕たちの代では達成できないかも知れません。それでも精一杯目標にむかって努力し、少しずつでも良い成績を残して後輩達に託していく。そのようなチームを作っていくたいです。

## 編集後記

110周年事業で立ちあげた同窓会ホームページがやっと動き始めました。閲覧者数も次第に増えております。住所不明となっていた方からの連絡も何件かいただきました。まだまだ拙いホームページですが、これが会員の皆様を結ぶ糸になればと期待します。

会員の皆様からのご連絡、情報提供をお待ちしています。

(小林)

# 学園だより



全国高校演劇大会

私は四日市高校で多くの素晴らしい先生方と友達に恵まれ、有意義な経験を積むことができました。その中でも様々な場面で一体感を感じ、清々しい気持ちになった事を思い出します。

例えば、三年生の四高祭でミュージカルを演じた時のこと。

企画の段階でテーマの選択と表現方法について全員で話し合いました。目標は自分達のミュージカルをみんなに楽しんでもらうこと。限られた時間の中で効率良くまとめる方法について悩みました。そんな中で率先して取り仕切るリーダーが生ま

れ、リーダーを含めクラス全員が協力しあえる環境が自然と出来上がりました。早朝からの練習にもかかわらず、ほぼ全員が必ず練習に参加し、表現方法を工夫してオリジナルのアレンジ部分も生まれました。全員が目標に向かって一丸となる姿、選任したリーダーを支えて練習に取り組んでいく日々が充実感を感じました。もちろん演じている自分達もとても楽しい時間を過ごすことができました。努力の成果として最多得票賞を頂き、一体感と達成感の両方をみんなが共有出来たことはとてもよい思い出になっています。

## 四日市高校で学んだこと「一体感」

### 横山 瑛 貴

(三年五組)

また、自習室の学習においても同じ感覚(一体感)を持ちました。勉強は楽しいことばかりではありません。目標通りに学習が進まず悩んだ時、点数が思うようにとれないでモチベーションが上がらない時でも自習室にいれば、友達一人一人の学習する姿が刺激となり自分に跳ね返ってきます。何も語らない自習室の空間や雰囲気の中ですら一体感を感じたことを思い出します。

四高生はお互いの立場を理解して認め合おうとする思いや自分の役割を考えて行動する速さなどの長所をその中で大きく成長することができました。またこのような環境を整えてくれた先生方にも感謝したいと思っています。

これらの四日市高校での経験を誇りに、今後の成長につなげたいと思っています。

